Panasonic

パーソナルコンピューター
取扱説明書

品番 CF-T2シリーズ

XP 2000

本書以外のマニュアル

- **印刷されているマニュアル**
  - ・ご使用の前に
    付属品や保証とアフターサービスについて説明しています。
- **画面で見るマニュアル**
  コンピューター本体に保存されています。起動のしかたについては19ページを参照してください。
  - ・操作マニュアル
    本機をより活用するための拡張方法などについて説明しています。
  - ・バッテリー等の上手な使い方
    バッテリーをできるだけ長持ちさせ、駆動時間を長くする方法などについて説明しています。
  - ・Windowsのヘルプ
    Windowsの操作や各機能について説明しています。

上手に使って上手に節電

もくじ

お使いになる前に　操作の方法　困ったときは

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ・この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- ・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

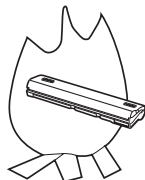
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

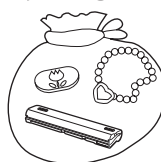
お使いになる前に

バッテリーパックに関する注意　⚠危険

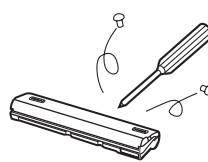
火中に投入したり加熱したりしない

禁止

発熱・発火・破裂・爆発の原因になります。

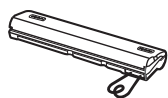
ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

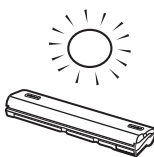
クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

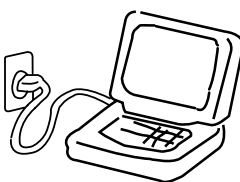
禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス(＋)とマイナス(－)を金属などで接触させない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-T2 シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

電源プラグを抜く

•本体が破損した •本体内に異物が入った
•煙が出ている •異臭がする
•異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災•感電の原因になります。

● 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、ご相談窓口にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、ご相談窓口にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

本機を改造しない また、本書に記載のない方法で分解しない

分解禁止

⚠警告
高電圧に注意 本機を分解・改造しない

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

本機の上に水などの入った容器や金属物を置かない

禁止

水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

● 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、ご相談窓口にご相談ください。

＜無線LANモジュール内蔵モデルのみ＞

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠警告

<無線LANモジュール内蔵モデルのみ>

航空機内では電源を切る*1

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る*1（手術室、集中治療室、CCU*2等には持ち込まない）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*2 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る*1

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

*1 やむをえずこのような環境でコンピューター本体を使用したいとき

Windows XP　タスクトレイの を右ボタンで選び、[Wireless LANを無効にする]を選んでください。

Windows 2000　タスクトレイの を右ボタンで選び、[Wireless LANを無効にする]を選んでください。

（☞『操作マニュアル』「無線LAN機能」）

⚠注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

モデムは、日本国内の一般電話回線で使用する

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いてご相談窓口にご相談ください。

電源コードはプラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど*3の原因になります。

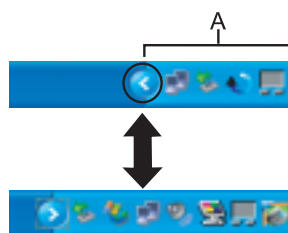
*3 低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

表記について

Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating systemについての説明です。 本書では WindowsまたはWindows XPと表記します。
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemについての説明です。 本書では WindowsまたはWindows 2000と表記します。
Enter	キーボードのEnterキーを押すことを意味します。
Fn + F5	キーボードのFnキーを押しながら、F5キーを押すことを意味します。
[スタート]-[検索]	画面上の[スタート]をクリックした後、[検索]をクリックすることを意味します。内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。
無線LANモジュール内蔵モデル	無線LANモジュールを内蔵しているモデルに関する説明を記載しています。
アプリケーション付きモデル	Microsoft® Office Personal Edition 2003などのアプリケーションソフトを付属しているモデルに関する説明を記載しています。
☞	参照先（本書の参照ページやコンピューター本体に保存されている『操作マニュアル』など）を意味します。

- 本書で使用している画面表示について
  Windows XPとWindows 2000で説明が共通の個所は、Windows XPの画面を使用しています。
- 本書では、コンピューターの管理者またはAdministratorの権限でログオンした場合の手順や画面表示で説明しています。実行できない機能があったり、画面表示が本書と違ったりする場合は、コンピューターの管理者またはAdministratorの権限でログオンして、操作してください。
- 別売りの商品について
  本書で使用している商品品番は変更になることがあります。最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

Windows XP

- 本書で説明しているタスクトレイ（A）内のアイコンが隠れて表示されていない場合は、を選んですべてのアイコンを表示させてください。

各部の名称と働き

ラッチ

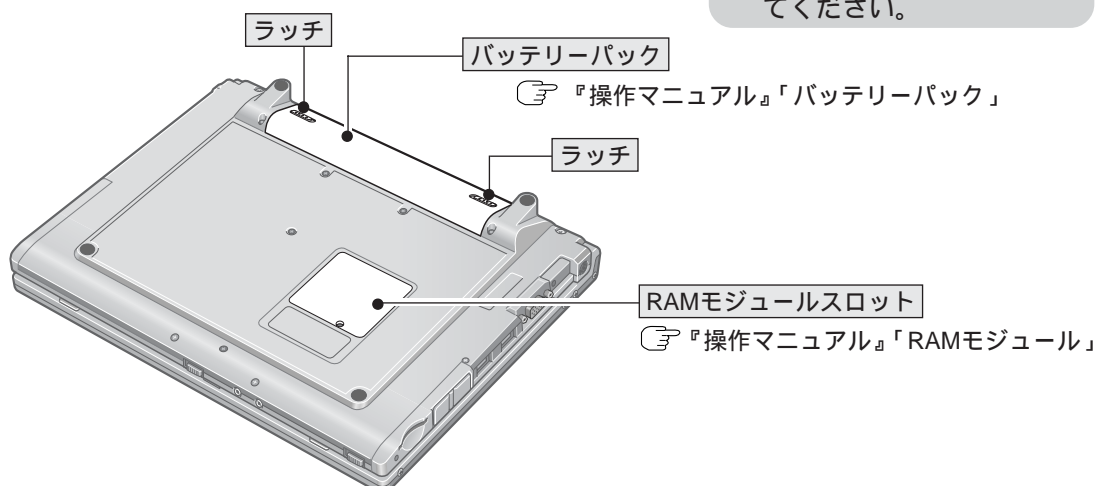
ディスプレイを閉じてラッチがロック状態になると、以下の項目の設定に従い、「スタンバイ状態」に入るなどの動作をします。
☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」「省電力機能」

Windows XP [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]の「ポータブルコンピュータを閉じたとき」

Windows 2000 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細]の「ポータブルコンピュータを閉じたとき」

・操作を再開するときは、ディスプレイを開けてください。

Windows 2000
・「電源オフ」に設定しているときは、ディスプレイを開け、電源スイッチをスライドする必要があります。

無線LAN用アンテナ部
＜無線LANモジュール内蔵モデルのみ＞
『操作マニュアル』「無線LAN機能」
電源端子
DC IN 16V
外部ディスプレイコネクター
『操作マニュアル』「外部ディスプレイ」
USB コネクター
『操作マニュアル』「USB 機器」
LAN コネクター
『操作マニュアル』「LAN 機能」
SD メモリーカードスロット
SD メモリーカード状態表示ランプ
SD メモリーカードアクセス中：点灯
『操作マニュアル』
「SD メモリー / マルチメディアカード」
モデムコネクター
『操作マニュアル』「モデム」
お願い
● 雷が鳴っているときは、モジュラーケーブルを抜いてください。
ラッチ
バッテリーパック
『操作マニュアル』「バッテリーパック」
ラッチ
RAMモジュールスロット
『操作マニュアル』「RAMモジュール」

はじめて使うとき

お買い上げ後、はじめて Windows の操作を始めるまでの操作手順を説明します。

1 付属品を確認する。

付属の『ご使用の前に』で確認してください。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、ご相談窓口にお確かめください。なお、本機には持ち運び時にお使いいただける布（☞ 20ページ）を付属しています。

2 ソフトウェア使用許諾書(☞ 38ページ)に同意する。

コンピューター本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を必ず確認してください。

3 本体を裏返し、バッテリーパックを取り付ける。

バッテリーパックの向きに注意して、矢印の方向にスライドさせて取り付け、左右のラッチで固定されていることを確認してください。

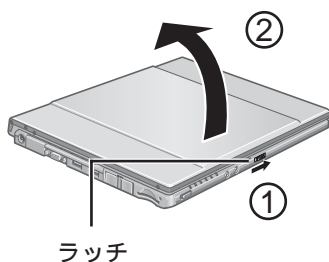
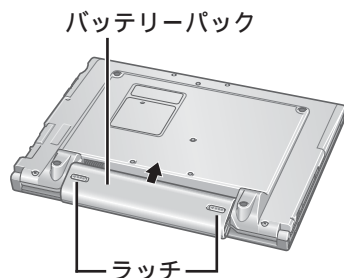
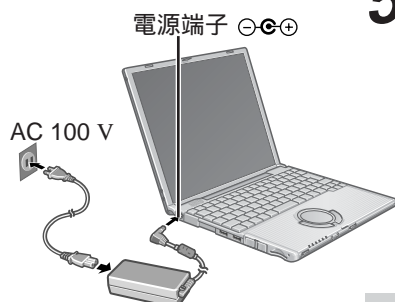
お願い

- コネクターに確実に取り付けてください。
- バッテリーパックおよびコンピューターのコネクター部に触れないようにしてください。コネクターが汚れたり損傷したりすると、接触が悪くなったり、十分に充電できなかったりすることがあります。また、コンピューターが正しく動作しないことがあります。
- ご使用にあたってバッテリーパックについての安全上のご注意（☞ 2 ページ）をよくお読みください。

4 ディスプレイを開ける。

①ラッチを矢印の方向にスライドする。
②ディスプレイを開ける。

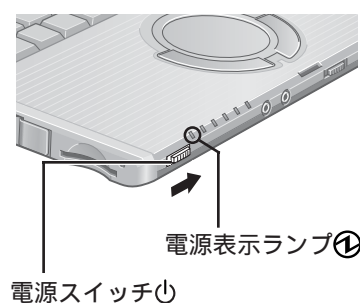
お願い

- ディスプレイを必要以上（160 ° 以上）に開けないでください。
- ディスプレイの液晶部分に必要以上の力を加えないでください。
また、液晶部分を持って開閉しないでください。

5 ACアダプターを接続する。

- ACアダプターは、手順7が完了するまで、必ず接続しておいてください。
  ACアダプターを接続すると、自動的にバッテリーパックの充電が始まります。
  充電にかかる時間：約3時間
  （コンピューターの動作状態により異なります。）
- はじめて使うときは、本体にバッテリーパックとACアダプター以外の周辺機器は接続しないでください。

注意

必ず指定の AC アダプターを使用する

指定以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

6 電源を入れる。

電源スイッチを約1秒間スライドしたままにし、電源表示ランプが点灯したことを確認してから手を離します。

お願い

- 電源スイッチを 4 秒以上スライドしたままにしないでください。4 秒以上スライドし続けると電源が切れます。
- 電源スイッチを連続してスライドしないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで 10 秒以上あけてください。

7 Windowsをセットアップする。

カーソル( )の移動やボタンなどの選択（クリック）には、ホイールパッドを使います。（☞ 18ページ）

お願い

- Windowsのセットアップを行う前に、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。アプリケーションソフトが正しく動作しない場合があります。

Windows XP （Windows 2000のセットアップ手順は13ページをご覧ください。）

お願い

- 「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、ホイールパッドに触れたりしないでください。

① 「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
② 「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

- 「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③「地域と言語のオプション」画面で正しい地域を設定して、[次へ]を選ぶ。
（工場出荷時は日本に設定されています。）
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]を選ぶ。
（組織名は省略可能）
⑤「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面で、コンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]を選ぶ。（パスワードは省略可能）

お願い

- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。
- ここでは、パスワードを省略し、後で設定することもできます。後で設定する場合は、Windows起動後、[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で行ってください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻、タイムゾーンを設定して[次へ]を選ぶ。

お知らせ

- 次の画面が表示されるまで2〜3分程度かかる場合があります。キーやホイールパッドなどを操作せずにそのままお待ちください。

⑦「ネットワークの設定」画面で[標準設定]を選び、[次へ]を選ぶ。
設定内容は一例です。お使いのネットワークシステムにより設定が異なります。詳しくは、接続サービス会社(プロバイダー)または会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
⑧「ワークグループまたはドメイン名」画面で「このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している。」を選び、[次へ]を選ぶ。
コンピューターが自動的に再起動します。

お知らせ

- 「このコンピュータを次のドメインのメンバにする」を選ぶと、「指定されたドメインは無効です。ドメインへの参加を後にして、続行しますか」という画面が表示されることがあります。その場合は[はい]を選んでください。[はい]を選んだ後、コンピューターが自動的に再起動しますが、「Windowsを起動しています...」という画面が表示されたままになり、Windowsが起動しない場合があります。その場合は、 Alt キーを押しながら Tab キーを押して「ネットワークIDウィザード」の画面を手前に表示し、画面に従って操作してください。

⑨手順⑤でパスワードを設定した場合、そのパスワードを入力して→を選ぶ。
⑩[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]-[新しいアカウントを作成する]を選んで、画面に従ってユーザーアカウントを作成し、コンピューターを再起動する。

お知らせ

- メールの設定やパスワードリセットディスク（☞14ページ）などの各種操作を行ってからユーザーアカウントを作成すると、それまでのメールの履歴や設定内容が使用できなくなります。
- 最初に追加するユーザーアカウントは「コンピューターの管理者」のアカウントになります。
「コンピューターの管理者」のアカウントを作成すると、以降、制限ユーザーのユーザーアカウントが作成できるようになります。
また、「ようこそ」画面には追加したユーザーアカウントのみが表示され、Windowsのセットアップ時に作成した「Administrator」のアカウントは表示されません。

⑪ Windows® Media Playerを起動する。
コンピューターの管理者の権限でログオンし、画面上の を選んでください。
以降、画面の指示に従って起動してください。途中使用許諾に同意する必要があります。
Windows® Media Playerでは、アカウントを作成するごとに使用許諾に同意する必要があります。

＜アプリケーション付きモデルのみ＞

⑫ Microsoft® Office Personal Edition 2003など、付属のアプリケーションソフトをセットアップする。

お願い

- 付属のアプリケーションソフトのセットアップは、Windowsのセットアップ手順⑪の後、引き続き実行してください。他のプログラムをインストールしたり実行した後では、正しくセットアップが行われない場合があります。
- ACアダプターは必ず接続しておいてください。

＜CF-T2B シリーズをお使いの方へ＞
画面上の を選ぶ。
Microsoft® Office Personal Edition 2003、Microsoft® Office Home Style⁺、Microsoft® Office OneNote™ 2003のセットアップが始まります。（約10分）

＜CF-T2A シリーズをお使いの方へ＞
画面上の を選ぶ。
Microsoft® OfficeXPのセットアップが始まります。（約30分）

セットアップの開始画面で[OK]を選ぶ。
自動的に設定や再起動（数回）が行われますので、そのまましばらくお待ちください。

- 再起動時は、セットアップを実行したユーザー名でログオンしてください。その際、ユーザーの簡易切り替え機能は使用しないでください。
- セットアップ中に[キャンセル]を選んだり、Windowsを強制終了させたりしないでください。
- ログオン操作とメッセージへの応答以外はキーボードや、ホイールパッドの操作を行わないでください。
- 左の画面が表示された場合は、[はい]を選ばず、コンピューターが再起動し、アプリケーションソフトのインストールが始まるまで、そのまましばらくお待ちください。

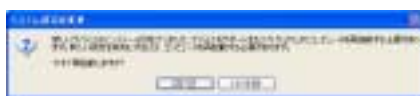
＜CF-T2Aシリーズをお使いの方へ＞

- コンピューターが再起動した後､アプリケーションソフトのインストールが始まらなかった場合は､[スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選び、「e:¥oxp¥encinst.js」と入力し､[OK]を選んでください。インストールが始まります。

セットアップ完了の画面で[はい]を選ぶ。

- アプリケーションソフトを初めて起動したとき
  - 使用許諾の画面が表示されます。必ずコンピューターの管理者の権限でログオンしていることを確認して、同意してください。
    コンピューターの管理者以外の権限でログオンして同意すると、次回これらのアプリケーションソフトを起動したとき、再度、使用許諾の画面が表示されます。

  ＜CF-T2Bシリーズをお使いの方へ＞
  - Microsoft® Office Personal Edition 2003 の場合は、使用許諾の前に「ユーザー名の指定」画面が表示されます。氏名と頭文字を入力してください。この画面は、アカウントを作成するごとに表示されます。

<CF-T2Bシリーズをお使いの方へ>

● 手書き入力パッドを起動したとき

IME2003のツールバーで または を選んで手書き入力パッドを起動すると、左の画面が表示されますが、動作には問題ありません。[今後、このメッセージを表示しない]にチェックマークを付けて[OK]を選んでください。このメッセージは、IME2003手書き入力パッドの問題としてマイクロソフト社より報告されています。詳しくはマイクロソフト社のホームページをご覧ください。

お知らせ

- 本機に付属のアプリケーションについては、「導入済みソフトウェア」をご覧ください。（☞47～48ページ）
- 各ソフトウェアの操作方法については、付属のソフトウェアパッケージ内の説明書をご覧ください。

<CF-T2Bシリーズをお使いの方へ>

- 画面上の を選んでセットアップできるのは1回のみです。
  セットアップの途中でエラーがでたり、インストールし直す場合は、付属のCDをお使いください。（この場合、別売りのCDドライブが必要となります。）
- Microsoft® Office Home Style+ のケータイ連携機能をお使いになる場合は、専用のUSBケーブル*1が必要です。
  詳しくは、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Microsoft Office Home Style+ ガイド]を選び、「Home Style+ ガイド」の[ケータイ連携]をご覧ください。
  *1 最新の対応状況については、マイクロソフト社のホームページでご確認ください。

< CF-T2A シリーズをお使いの方へ>

- 画面上の を選んでセットアップできるのは1回のみです。
  インストールし直す場合および機能追加を行う場合は、付属のCDをお使いください。（この場合、別売りのCDドライブが必要となります。）
- Microsoft® Outlook® Plus! Version 2.0のケータイPlus!機能をお使いになる場合は、専用のUSBケーブル*1が必要です。
  詳しくは、Microsoft® Outlook®を起動し、[Plus!]-[【基本レッスン】Outlook Plus!の使い方]をご覧ください。
  *1 最新の対応状況については、マイクロソフト社のホーム ページでご確認ください。
- Microsoft® Outlook® Plus!ツールをアンインストールする場合は、Microsoft® Outlook® Plus!ツール、Microsoft® Office XP Personalの順にアンインストールしてください。
  Microsoft® Office XP Personalを先にアンインストールすると、Microsoft® Outlook® Plus!ツールがアンインストールできなくなります。（☞30ページ）

Windows 2000

お願い

- 「Windows 2000セットアップ ウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、ホイールパッドに触れたりしないでください。

①「Windows 2000セットアップウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
②「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

- 「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③「地域」画面で正しい地域を設定して、[次へ]を選ぶ。（工場出荷時は日本に設定されています。）
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]を選ぶ。（組織名は省略可能）
⑤「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面でコンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]を選ぶ。

お願い

- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。
- ここでは、パスワードを省略し、後で設定することもできます。後で設定する場合は、Windows起動後、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]で行ってください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻を設定して[次へ]を選ぶ。
⑦「ネットワークの設定」画面で[標準設定]を選び、[次へ]を選ぶ。
設定内容は一例です。お使いのネットワークシステムにより設定が異なります。詳しくは、接続サービス会社(プロバイダー)または会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
⑧「ワークグループまたはドメイン名」画面で「このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している」を選び、[次へ]を選ぶ。
コンピューターが自動的に再起動します。
⑨「ネットワーク識別ウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
⑩「このコンピュータのユーザー」画面で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選び、[次へ]を選ぶ。
⑪「ネットワーク識別ウィザードの終了」画面で[完了]を選ぶ。
⑫手順⑤でパスワードを設定した場合、そのパスワードを入力して[OK]を選ぶ。

Windows XP について

Windowsの設定、インストールしているアプリケーションソフトやドライバーによって、Windowsのメニューや表示が本書と異なったり、一部の機能(パスワードリセット機能など)が動作しない場合があります。

ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する

[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]-[ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する]で「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている場合と付けていない場合では、起動時および終了時の操作が以下のように異なります。

「ようこそ画面を使用する」の設定	起動時の操作	終了時の操作
チェックマークを付けている場合	ユーザーの名前のリストが表示され、ログオンしたいユーザー名を選ぶ。	[スタート]-[終了オプション]-[電源を切る]を選ぶ。
チェックマークを付けていない場合	ユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選ぶ。	[スタート]-[シャットダウン]-[シャットダウン]を選び、[OK]を選ぶ。

・SDカード設定（☞『操作マニュアル』「SDメモリー／マルチメディアカード」）で「Windowsのログオン時に使用する」を選んでいる場合は、ようこそ画面は使用できません。

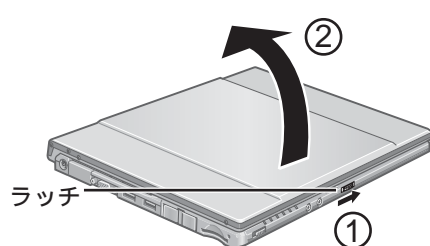
● 「ユーザーの簡易切り替えを使用する」
この設定にチェックマークを付けていると、複数のユーザーがコンピューターを使用している場合、ログオンし直さずに別のユーザーに切り替えることができます。「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けていない場合やネットワークのドメインに参加している場合などは、この機能は使えません。また、アプリケーションソフトによっては、この機能を使うとコンピューターが正しく動作しない場合があります。
本書では、チェックマークを付けている場合の手順で説明します。

パスワードリセット機能について

Windowsのログオンパスワードを忘れてしまったときのために、現在のパスワードを解除して新しくパスワードを設定するパスワードリセット機能があります。この機能を使うには、以下の手順に従って、あらかじめパスワードリセットディスクを作成しておいてください。

1 別売りのUSBフロッピーディスクドライブ（☞ 付属の『ご使用の前に』）を本機に接続する。
2 [スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]を選ぶ。
3 ログオンしているアカウントの[関連した作業]の「パスワードを忘れないようにする」を選ぶ。
以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成し、大切に保管してください。
・ パスワードリセットディスクで解除できるのは、各アカウントのログオンパスワードのみです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。

操作を始める／終わる

操作を始める

1 ディスプレイを開ける。

①ラッチを矢印の方向にスライドする。
②ディスプレイを開ける。

お願い

- ディスプレイを必要以上（160 ° 以上）に開けないでください。
- ディスプレイの液晶部分に必要以上の力を加えないでください。
  また、液晶部分を持って開閉しないでください。

電源スイッチ　電源表示ランプ

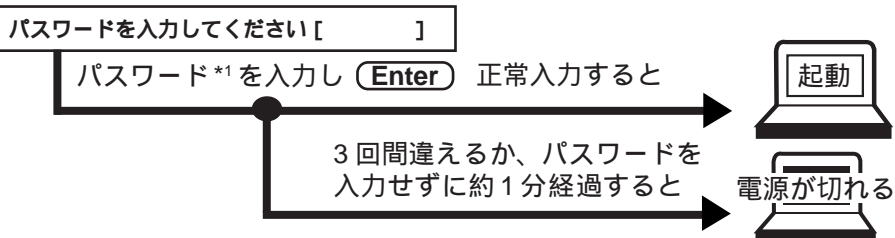
2 電源を入れる。

電源スイッチを約1秒間スライドしたままにし、電源表示ランプが点灯したことを確認してから手を離します。

お願い

- 起動中は、ポインターが砂時計（ ）から通常のもの（ ）に戻り、ハードディスク状態表示ランプ（ ）が消えるまで、以下のことはしないでください。
  - ・ACアダプターを抜き挿しする。
  - ・電源スイッチを操作する。
  - ・キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
  - ・ディスプレイを閉じる。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。
- 電源を入れても本体が起動しない場合は、CPUの温度が上がっていることがあります。CPUの温度が上がっていると、CPUの過熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

● 画面に「パスワードを入力してください」と表示されたら . . .

本機のセキュリティのため、パスワードが設定されています。（『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）

*1 セットアップユーティリティで設定されているパスワードです。（Windowsのパスワードではありません。）

操作の方法

● **操作していたアプリケーションソフトやファイルがすぐに表示されたら . . .**

前回操作を終えたとき表示していた画面です。「スタンバイ」または「休止状態」と呼ばれる機能を使って操作を終わると、電源を入れたとき、すぐに操作を再開することができます。(☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」)

3 Windowsにログオンする。

Windows XP

ハードディスク状態表示ランプ（🛢）が消えてから、ユーザーを選びます。

・パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して➡を選んでください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。

ここでの操作は、「ようこそ画面を使用する」 の設定により異なります。(☞ 14 ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」)

お知らせ

●「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けていても、ユーザーが一人だけ作成されていて、パスワードが設定されていない場合は、ユーザーを選ぶ画面が表示されません（自動ログオン）。

Windows 2000

ハードディスク状態表示ランプ（🛢）が消えてから、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選びます。正しいユーザー名とパスワードを入力するまで操作できません。

4 操作をする。

各種アプリケーションソフトなどを起動し、操作を始めてください。

お知らせ

● お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、ディスプレイの電源が切れ、画面の表示が消えます。
この場合、ホイールパッド、キーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
アプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（ Ctrl や Shift など）を押してください。
コンピューターを操作せずに放置していると、スタンバイ状態または休止状態に入るように設定されています。電源スイッチをスライドするとリジュームします。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）

● 操作やデバイスへのアクセスがなく、ハードディスク状態表示ランプが消えてしばらく（10秒以内）したときや、スタンバイ・休止状態、Windows終了時に、カッコンという音がする場合があります。これは消費電力を抑えたり、衝撃からハードディスクを保護するためにヘッドが退避するときの音で、故障ではありません。

Windows XP

● ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、画面の設定ができなくなる場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、すべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。

操作を終わる（電源を切る）

スタンバイまたは休止状態機能（☞『操作マニュアル』「スタンバイ･休止状態機能」）を使わず操作を終わります。

お知らせ

- コンピューター本体にACアダプターを接続していないときはコンセント側を抜いておいてください。（ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約1.5 Wの電力が消費されます。）

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する。

2 終了画面を表示する。

Windows XP　[スタート]-[終了オプション]を選ぶ。（☞ 14ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」）

Windows 2000　[スタート]-[シャットダウン]を選ぶ。

3 終了を確認し、電源を切る。

Windows XP　[電源を切る]を選ぶ。

Windows 2000　[シャットダウン]を選び、[OK]を選ぶ。

自動的に電源が切れます。

●電源を切らずに、起動し直したい（再起動）

Windows XP　[再起動]を選ぶ。

Windows 2000　[再起動]を選んで、[OK]を選ぶ。

お願い

- 終了処理が行われている間は、以下のことをしないでください。
  - ・ACアダプターを抜き挿しする。
  - ・電源スイッチを操作する。
  - ・キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
  - ・ディスプレイを閉じる。

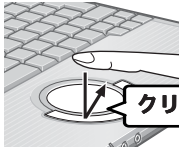
お知らせ

- キーボードを使って電源を切るには

  Windows XP　(Windows)、(U) の順に押し、(→) (←) (↑) (↓)で[電源を切る] を選んで、(Enter) を押す。

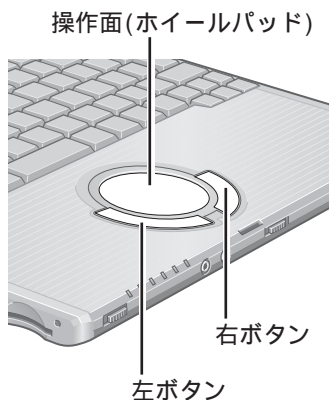
  Windows 2000　(Windows)、(U) の順に押し、(→) (←) (↑) (↓)で[シャットダウン]を選んで、(Enter) を押す。
- 次に電源を入れるとき、すぐに操作を再開したい「スタンバイ」と「休止状態」と呼ばれる機能があります。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ･休止状態機能」）

4 ディスプレイを閉じる。

操作の方法

ホイールパッド

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。

お願い

- ホイールパッドは、指で操作するように設計されています。操作面を傷つけるようなもので操作しないでください。

機能	操 作
カーソルを動かす	指先を操作面で動かします。
タップ / クリック	タップ　または　クリック
ダブルタップ / ダブルクリック	ダブルタップ　または　ダブルクリック
ドラッグ	1 回タップしてから、すばやく指先で操作面をこする。　または　ボタンを押しながら、指を移動させる。
スクロール	『操作マニュアル』「ホイールパッド」

お知らせ

- 上記以外の基本的な操作については、[マウスのプロパティ]を参照してください。
  「マウスのプロパティ」画面を表示するには
  Windows XP
  [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[マウス]を選ぶ。
  Windows 2000
  [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[マウス]を選ぶ。

ホイールパッドの取り扱い

- 操作面にものを置いたり、つめなど先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので押さえたりしないでください。
- 油などでホイールパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動かなくなります。
- **ホイールパッドに汚れが付着した場合**
  ガーゼなどの乾いた柔らかい布か水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。ベンジンやシンナー、消毒用アルコールは使わないでください。
  中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

画面で見るマニュアル

「操作マニュアル」「バッテリー等の上手な使い方」

「操作マニュアル」と「バッテリー等の上手な使い方」は、本機のハードディスクに保存されていて、画面で見ることができます。プリンターが接続されていれば、必要なページを印刷することもできます。

●操作マニュアル

「操作マニュアル」では、周辺機器の拡張方法やセットアップユーティリティなど、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。

● 起動のしかた

Windows XP [スタート]-[操作マニュアル]を選ぶ。

Windows 2000 [スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[操作マニュアル]を選ぶ。

●バッテリー等の上手な使い方

「バッテリー等の上手な使い方」では、バッテリーをできるだけ長持ちさせ、駆動時間を長くする方法などについて説明しています。

● 起動のしかた

デスクトップの を選ぶ。

以下の手順でも「バッテリー等の上手な使い方」がご覧になれます。

Windows XP [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[バッテリー等の上手な使い方]を選ぶ。

Windows 2000 [スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[バッテリー等の上手な使い方]を選ぶ。

はじめて「操作マニュアル」「バッテリー等の上手な使い方」を起動したときは、Acrobat® Readerの「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示される場合があります。その場合は、内容を確認のうえ、[同意する]を選んでください。

Acrobat® Reader の使い方については、Acrobat® Reader のヘルプを参照してください。

お知らせ

- 表示サイズによっては、イラストが見えにくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
- Acrobat® Readerの下部がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。
- プリンターに接続している場合は､必要なページを印刷しておくことをおすすめします。ただし、プリンターによっては、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。

Windows のヘルプ

Windows の操作や各機能についての説明を画面で見ることができます。

● 起動のしかた

Windows XP [スタート]-[ヘルプとサポート]を選ぶ。

Windows 2000 [スタート]-[ヘルプ]を選ぶ。

上手にお使いいただくために

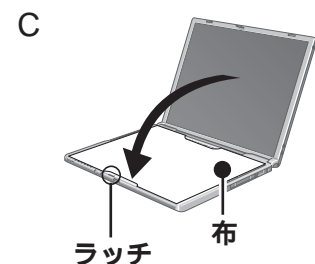
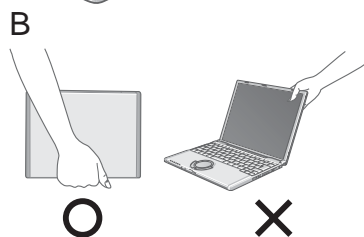
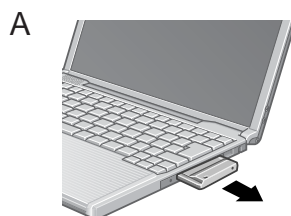
使用するとき／保管するとき

● 適した場所

・平らで落下のおそれがない場所
コンピューターを立てて置かないでください。倒れると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。

・使用時の温度：5 ℃ ～ 35 ℃
　　　湿度：30 %RH ～ 80 %RH　（結露なきこと）
保管時の温度：-20 ℃ ～ 60 ℃
　　　湿度：30 %RH ～ 90 %RH　（結露なきこと）

● 磁気を発生するもの(磁石､磁気ブレスレットなど)の近くには置かないでください。

持ち運ぶとき

以下のことをお守りください。
- 電源を切る。
- 外部装置やケーブル、本体から突き出たPCカード（左図A）、SDメモリーカードやマルチメディアカードをすべて取り外す。
- ディスプレイを閉じ、ラッチ部分（☞6ページ）がきちんとかみ合っていることを確認する。
ディスプレイやディスプレイの周りのキャビネット部を持って運ばない。（左図B）
- 付属の布をキーボードに敷き（左図C）、ラッチに布を挟まないように注意して、ディスプレイを静かに閉じる。
- 落としたり机の角など硬い物にぶつけたりしない。
- 航空機利用時
・コンピューターやディスクなどは、手荷物として持つ。
・航空機内の使用は、航空会社の指示に従う。
- 予備のバッテリーパック(別売り)はビニール袋などに入れる。

以下のことをおすすめします。
- 予備のバッテリーパック(別売り)を用意する。
- データのバックアップをとり、必要に応じてバックアップしたデータも一緒に持ち運ぶ。

お手入れ

ディスプレイ：
ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

ディスプレイ以外の部分：
水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した柔らかい布をかたくしぼってやさしく汚れをふき取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

お願い
- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

コンピューターのセキュリティについて

コンピューターのセキュリティ向上のため、以下の方法をお使いください。

- ウィルス対策ソフト（市販）を使う。
- Windows XP インターネット接続ファイアウォールを使う。
- Windows Updateを行う。（☞下記）
- マイクロソフト社のホームページ等で、セキュリティに関する最新の情報を入手する。

ウィルス対策ソフトを使う

特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
ウィルスチェックは、ウィルス対策ソフトを必ず最新の状態にして行ってください。
・コンピューターを起動したとき
・データを入手したとき
　フロッピーディスクなどの外部ディスクから、またネットワーク、インターネット、電子メールなどから入手したデータ(圧縮されている場合は、圧縮復元後のファイル)を使用または実行する前に必ずウィルスチェックを行ってください。
<デスクトップに （マカフィー®・ウイルススキャンのセットアップ）のある方のみ>
コンピューターウイルスを検査、駆除するソフトとして、マカフィー®・ウイルススキャンをお使いいただくことができます。くわしくは別紙の『ご使用の前に』をご覧ください。

インターネット接続ファイアウォールを使う

Windows XP
インターネット接続ファイアウォールは、インターネット経由の不正アクセスなどからコンピューターを保護します。以下の方法で設定してください。

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続]を選ぶ。
2 LANまたは高速インターネットカテゴリのうち、保護したい接続のアイコンを右ボタンで選んで[プロパティ]を選ぶ。
3 [詳細設定]を選び、[インターネット接続ファイアウォール]の[インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する]にチェックマークを入れて[OK]を選ぶ。

インターネットへの接続方法が複数ある場合、それぞれの接続について手順の*2*～*3*を繰り返してください。

お知らせ

- ネットワークに関連したソフトウェアやネットワークゲームによっては、インターネット接続ファイアウォールを有効にしていると、正常に動作しないものがあります。このようなソフトをお使いになる場合のインターネット接続ファイアウォールに関しては、お使いのソフトウェア製造元にお問い合わせください。
- インターネット接続ファイアウォールの詳細については[スタート]-[ヘルプとサポート]を選び、検索に「インターネット接続ファイアウォール」と入力して、表示されるヘルプをご覧ください。

Windows Update について

Windows Updateを行うと、Windows用の最新サービスパックや修正プログラムを利用して、お使いのコンピューターのWindowsを最新の状態にすることができます。
インターネットに接続し、以下の手順で行ってください。

Windows XP　[スタート]-[すべてのプログラム]-[Windows Update]を選ぶ。
Windows 2000　[スタート]-[Windows Update]を選ぶ。

ただし、「ドライバの更新」が表示される場合でも、「ドライバの更新」を適用しないでください。ドライバーの更新が必要な場合は、弊社のホームページでお知らせします。

・再インストールした後も（☞32ページ）必ず[Windows Update]を行ってください。
・インストールされている修正プログラムを以下の方法で確認することができます。
　Windows XP　[スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]を選ぶ。
　Windows 2000　[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]を選ぶ。

操作の方法

上手にお使いいただくために

周辺機器を使用する場合

コンピューター本体、周辺機器、ケーブル等の故障を防ぐため、次の点に注意してください。また､本書および操作マニュアルとあわせて､使用する周辺機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

・仕様に適合した周辺機器を使用する。
・コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
・接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向き等を確認する。
・固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
・ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

ハードディスクのデータ保護

- コンピューター本体の取り扱いには十分注意し、衝撃を与えない。
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやWindowsおよびアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。
- Windowsやアプリケーションソフトの動作中およびハードディスクドライブ（）のランプが点灯中は、電源を切らない。
  ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート] メニューから操作を終了してください。（☞17ページ）
- 磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。
  ハードディスクに保存されていたデータが消失するおそれがあります。
- ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合(故障／不本意なデータ更新／消失など)に備えて定期的にバックアップをとる。
  トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
- データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。（☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」「SDメモリー／マルチメディアカード」）

ハードディスク保護＜企業／法人向けモデルのみ＞

ハードディスク保護を有効に設定すると、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際にハードディスクのデータが読み書きできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と全く同じ設定にしておいてください。（ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）

ハードディスク内のリカバリー用データ

- ハードディスク内のリカバリー用データは絶対に削除しないでください。
  本機は、再インストール（コンピューターに何らかのトラブルが発生し正常に動作しなくなった場合などに行う）に必要なリカバリー用データをハードディスク内に格納しています。このリカバリー用データは約3 Gバイトあります。
  誤って消去することを防ぐため、リカバリー用データがある領域は通常の方法では表示されないようになっていますが、特別な手段を講じて、この領域を削除したり、領域内のデータを削除／変更またはデータを追加したりすると再インストールができなくなります。絶対にこれらの操作を行わないでください。万一、削除してしまった場合などはご相談窓口にご相談ください。
- リカバリー用データの領域を通常のドライブとして、使用することはできません。あらかじめご了承ください。
- ハードディスクリカバリー、ハードディスクバックアップ機能（企業／法人向けモデルのみ）はダイナミックディスクには対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

ハードディスクのパーティション（区画）を変更する場合

- 再インストールで「OS用とデータ用の2つのパーティションを作成して、OS用パーティションにWindowsを再インストールする」を実行すると、パーティションを2つに分割することができます。「ディスクの管理」を使用すれば、さらに高度な操作を行うこともできます。
  ＜企業／法人向けモデルのみ＞
  ハードディスクバックアップ機能（☞ 39ページ）を使用する場合、バックアップ領域を作成する前にパーティションを分割すると、バックアップ領域を作成することができません。パーティションの分割は、バックアップ領域を作成するときに行ってください。
- パーティションは3つまでにしてください。
  4番目のパーティションは、以下の操作を行うときに必要となりますので、作成しないでください。
  ・再インストールを行うとき
  　再インストール専用のパーティションとして一時的に4番目のパーティションを使用します。
  　このため、4番目のパーティションを作成し、データなどを保存した状態で再インストールを始めると、そのデータは削除されてしまいます。
  ＜アプリケーション付きモデルの場合＞
  ・Microsoft® Office Personal Edition 2003など、付属のアプリケーションソフトをセットアップするとき、4番目のパーティションを使用してセットアップを行います。このため、4番目のパーティションがすでに作成されていると、セットアップすることができません。

操作の方法

無線 LAN について<無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ>

● 無線 LAN で使用できるチャンネル
本機では、1〜11チャンネル*1を使用します。使用するチャンネルを確認してください。
アクセスポイント（別売り）の中には、工場出荷時の設定として、無線LANが使用するチャンネルを12〜14チャンネルのいずれかとしているものがあります。このような場合は、アクセスポイントに付属の説明書をご覧になり、チャンネルを1〜11チャンネルのいずれかに設定してください。
*1 ワイヤレス通信においては、使用する周波数帯域を分割し、それぞれの帯域によって異なる通信を行うことができます。チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。

無線 LAN ご使用時のセキュリティについて

無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。
（☞『操作マニュアル』「無線LAN」、お使いの無線アクセスポイントの説明書）

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してコンピューターと無線アクセスポイント等との間で情報のやり取りを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、ある範囲であれば障害物（壁等）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
・IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容
等の通信内容を盗み見る可能性があります。

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピューターウィルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）
等を行う可能性があります。

本機の無線LAN機能や無線アクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線アクセスポイントにあわせてセキュリティに関する設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

無線LANのセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線LANの仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをおすすめします。お客様ご自身で対処できない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコードが表示されたら

電源を入れたとき、下記のエラーコードやメッセージが表示された場合は、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、または下記以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード／メッセージ	対 処
Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key	● フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされている場合は、フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押してください。 ● USBコネクターに機器を接続している場合は、取り外すか、セットアップユーティリティを起動し、「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「無効」に設定してください。
0212：キーボードエラーです。	● 外部キーボードを接続している場合は、取り外してください。
0251：システムCMOSのチェックサムが正しくありません。デフォルト値が設定されました。	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、内容が変更された場合に起こるエラーです。 ● セットアップユーティリティを起動し、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
0271：日付と時刻の設定を確認してください。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ● セットアップユーティリティを起動し、日付と時刻を正しく設定してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
0280：起動を3回失敗しました。 －デフォルト値を使用して起動します。	繰り返し起動に失敗したため、セットアップユーティリティをデフォルト設定に変更して起動しました。 ● セットアップユーティリティを起動し、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
<F1>キーを押すと継続、<F2>キーを押すとセットアップを起動します。	● エラー内容をメモした後、F2 を押してセットアップユーティリティを起動してください。設定を確認し、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
Operating System not found	起動しようとしたフロッピーディスクやハードディスクにOSが正しくインストールされていません。 ● フロッピーディスクドライブに起動できないフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。 ● ハードディスクから起動できない場合は、再インストールを行ってください。 ● USBコネクターに機器を接続している場合は、取り外すか、セットアップユーティリティを起動し、「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「無効」に設定してください。

●セットアップユーティリティの起動方法

1 コンピューターを再起動する。

2 起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押す。

困ったときのQ&A

トラブルが発生した場合は、以下の方法を試してください。
操作マニュアルでも、さらに詳しい内容を紹介しています。また、アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。PC情報ビューアーを使って、コンピューターの使用状態などを確認することもできます。（☞ 31ページ）

● 電源を入れたとき

電源表示ランプまたはバッテリー状態表示ランプが点灯しない	● ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが、正しく取り付けられていますか？ ● ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。
USB機器を接続していると、本機が起動しない	● 一部のUSB機器を接続していると本機が起動しない場合があります。USB機器を外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「無効」に設定してください。
「パスワードを入力してください」が表示された	● スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
システム起動エラーが表示された	☞ 25ページ
Windows の起動および動作が極端に遅い	● セットアップユーティリティを起動してください。 （☞『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」） F9 を押して、いったん工場出荷時の設定（パスワード設定を除く）に戻した後、再度各種設定をしてください。 （動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。） ● ストリーミング再生時などに動作が遅くなる場合は、画面の色数を変更してみてください 。
日付と時刻が正しく表示されない	● 次の項目を使って訂正してください。 Windows XP [スタート]-[コントロールパネル]-[日付、時刻、地域と言語のオプション]-[日付と時刻] Windows 2000 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[日付と時刻] ● 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）が消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。 ● LAN（ネットワーク）に接続している場合は、サーバーの日付／時刻を確認してください。 ● 西暦2100年以降は、日付と時刻が正しく認識されません。
スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、「パスワードを入力してください」が表示されない	● セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはセットアップユーティリティで設定したパスワード入力は要求されません。代わりに、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定することができます。 Windows XP [スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で変更するアカウントを選び、パスワードを設定し、[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]の「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。 Windows 2000 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]でユーザーのパスワードを設定し、[コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細]の「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。

●電源を入れたとき（つづき）

パスワードを入力しても、再度入力を求められる	● キーボードがテンキーモードになっている可能性があります。 [1]ランプが点灯している場合は、(NumLk)を押してテンキーモードを解除して入力してください。
コンピューターの管理者またはAdministratorのパスワードを忘れた	● 以下の手順でパスワードを設定し直してください。 Windows XP パスワードリセットディスク（☞14ページ）を作成していた場合は、パスワードの入力に失敗すると、メッセージが表示されます。メッセージに従って、パスワードを再設定してください。 パスワードリセットディスクを作成していなかった場合は、再インストールした後、Windowsをセットアップしてパスワードを設定し直してください。 Windows 2000 再インストールした後、Windowsをセットアップしてパスワードを設定し直してください。
Windows 2000 スタートメニューの一部しか表示されない	● 簡易メニュー表示機能（よく使用するメニューを優先的に表示し、その他のメニューを隠す機能）が働いています。[»]を選ぶと、隠れていたメニューが表示されます。 ● 常にすべてのメニューが表示されるようにするには、[スタート]-[設定]-[タスクバーと[スタート]メニュー]を選び、「頻繁に利用するメニューを優先的に表示」のチェックマークを外してください。
その他の問題が起きる場合	● セットアップユーティリティを起動し、(F9)を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻してください。 ● 周辺機器を取り外してください。 ● 次の手順で、ディスクのエラーチェックを行ってください。 *1* Cドライブのプロパティを表示する。 Windows XP [スタート]-[マイコンピュータ]の[ローカルディスク（C:）]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選ぶ。 Windows 2000 [マイコンピュータ]の[ローカルディスク（C:）]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選ぶ。 *2* [ツール]から[チェックする]を選ぶ。 *3* [チェックディスクのオプション]で必要に応じて項目を選び、[開始]を選ぶ。 ● 起動時、「Panasonic」起動画面が消えたときに(F8)を押し続け、「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら指を離し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。

●画面表示

電源を入れた後、画面に何も表示されない	● 外部ディスプレイの画面に表示されない場合 ・外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ・外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ・外部ディスプレイの設定は正しいですか？ ● 表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。 (Fn) + (F3) で表示先を切り替えてください。 (Fn) + (F3) を続けて押す場合は、画面の表示先が完全に切り替わったことを確認してから押してください。
画面が消えた、または画面に何も表示されない	● 省電力機能によって、ディスプレイの表示が消えることがあります。いずれかのキーを押すと元に戻ります。その際、選択に使うキー（(Enter)、(Space)、(Esc)、(Y)、(N)や数字キーなど）は使わず、動作に影響のないキー（(Ctrl)や(Shift)など）を押してください。 ● 省電力機能によって、スタンバイ（電源表示ランプが緑色点滅する）・休止状態（電源表示ランプ消灯）に入ることがあります。 その場合、電源スイッチをスライドすると元に戻ります。

● 画面表示（つづき）

バッテリーパックで使用すると、ACアダプター接続時に比べて画面が暗い	● Fn + F2 を押して輝度を調整してください。ただし、輝度を上げると、バッテリー駆動時間が短くなります。輝度は、ACアダプターが接続されている状態と接続されていない状態で別々に設定できます。
残像が現れる	● しばらくイメージを表示させていると、残像となることがあります。別の画面が表示されると残像は消えます。
カーソルが動かない	● 外部マウスを使用している場合は、外部マウスを正しく接続し直してください。 ● キーボードを操作してコンピューターを再起動してください。 （Windowsキー）、U の順に押し、→ ← ↑ ↓ で[再起動]を選んで Enter を押してください。 ● キーボードで操作できない場合は、「応答がない」をご覧ください。 (☞ 30 ページ)
画面に緑、赤、青のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	● カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（緑、赤、青色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下）
画面が乱れる	● 解像度／色数を変更すると画面が乱れることがあります。コンピューターを再起動してください。
外部ディスプレイに正しく表示されない	● 外部ディスプレイが省電力機能に対応していない場合、省電力のためにディスプレイの電源を切る状態に入ると、外部ディスプレイに正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください。
外部ディスプレイと内部LCDの両方に表示しているとき、外部ディスプレイ側に正しく表示されない	● Fn + F3 で表示先を切り替え直してください。 ● Fn + F3 で表示先を切り替えても表示されない場合は、以下の項目で表示先を変更して試してください。 Windows XP [スタート]-[コントロールパネル]-[コントロールパネルのその他のオプション]-[Intel(R) Extreme Graphics]-[デバイス] Windows 2000 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[Intel(R) Extreme Graphics]-[デバイス]
Windows® Media PlayerでMPEGファイルを再生しているとき、Fn + F3 で画面の表示先を切り替えることができない	● MPEGファイルの再生中に、画面の表示先を切り替えることはできません。 MPEGファイルの再生を終了し画面の表示先を切り替えてください。
Windows XP タスクトレイのアイコンが隠れて見えない	● タスクトレイの（アイコン）を選ぶと、隠れていたアイコンが表示されます。 ● 常にすべてのアイコンを表示しておきたい場合は、タスクバーを右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選んで、[タスクバー]の[アクティブでないインジケータを隠す]のチェックマークを外してください。

● SD カード設定（SD メモリーカードによるセキュリティ機能）

SD メモリーカードで Windows にログオンできない	● Windowsのユーザー名とパスワードが、SDメモリーカードに正しく設定されていません。 SDメモリーカードを使わずにWindowsのユーザー名とパスワードを入力してください。 ログオンした後、以下のいずれかの操作で、WindowsとSDメモリーカードに同じユーザー名とパスワードを設定してください。 ・[SDカード設定]でSDメモリーカード側の設定を変更する。 ・[コントロールパネル]でWindows側の設定を変更する。

●終了時

Windows が終了できない	● USB 機器を接続している場合は、一度取り外してから試してください。 ● プロバイダーへの接続は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windows が終了しなかったり、再起動できなかったりします。 通信の設定については、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。 ● LAN は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 LAN の設定については、接続サービス会社(プロバイダー)や会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。 (☞ 『操作マニュアル』「LAN 機能」)

●バッテリー状態表示ランプ

赤色に点灯している	● バッテリーの残量が少なくなっています。（残量約9%以下） ACアダプターを接続してバッテリー状態表示ランプがオレンジ色に変わったら、そのままお使いください。ACアダプターがない場合は、すぐにデータを保存し、終了してください。その後、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
赤色に点滅している	● すぐにデータを保存し電源を切った後、バッテリーパックとACアダプターを本体から取り外し、取り付け直してください。 それでも赤色に点滅する場合は、ご相談窓口にご相談ください。バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。
オレンジ色に点滅している	● バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、一時的に充電できない状態です。温度が充電可能な範囲内になると自動的に充電が始まります。そのままお使いください。

●操作マニュアル

操作マニュアルを表示できない	● Acrobat® Readerをアンインストールしませんでしたか？ アンインストールした場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で、「c:\util\reader\acroreader51_jpn_full.exe」を実行し、画面に従ってインストールしてください。その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、スタートメニューから操作マニュアルなどを起動できません。

●再インストール

セットアップユーティリティに「ハードディスク リカバリー／消去」が表示されない	● ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動していませんか？ スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。 ● リカバリー用データの領域が削除されている可能性があります。 ご相談窓口にご相談ください。

●ユーザーの簡易切り替え機能 Windows XP

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない	● ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。 ・アプリケーションソフトが正しく動作しない ・Fnとのキーの組み合わせが動作しない ・画面の設定ができない ・無線LANが使えない このような場合は、簡易切り替え機能を使わずに、すべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、コンピューターを再起動してください。

困ったときは

困ったときのQ&A

● その他

応答がない	● (Ctrl) + (Shift) + (Esc) を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 入力待ち画面などが別のウィンドウで隠れていませんか？ (Alt) + (Tab) で表示されている画面を確認してください。 ● 電源スイッチを4秒以上スライドして電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、以下の項目でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再度インストールしてください。 Windows XP [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除] Windows 2000 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]
Windows® Media Player で動画ファイルを再生しようとすると「コーデックが必要」と表示され、再生できない	● 一部の動画ファイルでは、標準でインストールされていないコーデックを使用するものがあります。その場合は、インターネットに接続してから動画ファイルを再生すると、自動的にコーデックがダウンロードされて再生できるようになる場合があります。
Windows XP デスクトップ上の Windows® Media Player へのショートカットアイコンが表示されない	● [スタート]-[すべてのプログラム]から Windows® Media Player を起動してください。また、デスクトップ上にアイコンをコピーすると、アイコンから起動できるようになります。
Windows XP デスクトップ上に Windows® Media Player へのショートカットアイコンが 2 つ表示される	● Windows® Media Playerの使用許諾に最初に同意したユーザーが制限ユーザーではありませんでしたか？ コンピューターの管理者が使用許諾に同意するまで2つのアイコンが表示されますが、どちらもお使いいただけます。
Microsoft® Outlook® Plus! ツールがアンインストールできない	● Microsoft® Office XP Personalを先にアンインストールしませんでしたか？ その場合は、以下の手順に従ってください。 *1* 付属のCDを使ってMicrosoft® Outlook® 2002をインストールする。 Microsoft® Outlook® 2002のインストールは、インストールの種類を指定する画面で「カスタム」を選び、インストールするアプリケーションの指定画面で「Microsoft® Outlook®」を選んでください。 インストール方法がわからない場合は、完全インストールでもかまいません。 *2* Microsoft® Outlook® Plus!ツールをアンインストールする。 *3* Microsoft® Office XP Personalをアンインストールする。
Windows XP スタートメニューの[電子メール]を選んでも、メールソフトが起動しない	● Microsoft® Office Personal Edition 2003など、付属のアプリケーションソフトをアンインストールすると、スタートメニューから起動するメールソフトの設定も削除されます。 以下の手順で再設定してください。 *1* タスクバーを右ボタンで選び、[プロパティ]-[スタートメニュー]を選ぶ。 *2* 「スタートメニュー」の[カスタマイズ]を選ぶ。 *3* 「[スタート]メニューでの表示」の「電子メール」でメールソフトを選び、[OK]を選ぶ。
＜CF-T2Bシリーズをお使いの方へ＞ Microsoft® Excelを起動すると「'C:¥...¥SFWiz.xla'が見つかりません。 ...」というエラーメッセージが表示される	● Microsoft® Office Home Style+をアンインストールしませんでしたか？ 付属のCDを使ってMicrosoft® Office Home Style+を再インストールしてください。
＜CF-T2Bシリーズをお使いの方へ＞ IME2003手書き入力パッドを起動すると、警告メッセージが表示される	☞ 12ページ

困ったときは

コンピューターの使用状態を確認する

PC情報ビューアーを使ってコンピューターの使用状態を確認し、ご相談窓口に相談されるときの情報として活用することができます。（コンピューターの管理者またはAdministratorの権限でログオンしないと、一部「未検出」と表示される情報があります。）

● PC情報ビューアーを起動する

Windows XP

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[PC情報ビューアー]-[PC情報ビューアー]を選ぶ。

Windows 2000

[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[PC情報ビューアー]-[PC情報ビューアー]を選ぶ。

項目をクリックすると各項目の詳細情報が表示されます。

● 情報をファイルに保存する

表示している内容をテキスト形式（.txt）にファイル保存することができます。

1 PC情報ビューアーを起動し、保存したい情報を表示させる。

2 [保存]を選ぶ。

- 表示されている項目を保存する場合
  「表示している情報だけ保存する」を選んで、[OK]を選ぶ。
  ウィンドウの外に隠れている部分も含めて保存できます。スクロール操作で表示位置をずらす必要はありません。
- すべての項目を保存する場合
  「すべての情報を保存する」を選んで、[OK]を選ぶ。

3 フォルダーを指定し、ファイル名を入力して[保存]を選ぶ。

● 画面のコピーをファイルに保存する

表示している画面のコピーをビットマップ形式（.bmp）でファイル保存することができます。

1 保存したい画面を表示させる。

2 Ctrl + Alt + F8 を押す。

「マイドキュメント」フォルダーに「pcinfo.bmp」ファイルが作成されます。
「pcinfo.bmp」ファイルがある場合は上書きされます。（「pcinfo.bmp」ファイルを読み取り専用や隠しファイルに設定している場合は、保存できません。）

- 拡張子を表示するには、エクスプローラの[ツール]-[フォルダオプション]-[表示]で拡張子を表示するように設定してください。

お知らせ

- 以下の操作で画面のコピーをファイルに保存することもできます。
  Windows XP
  [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[PC情報ビューアー]-[画面コピー]
  Windows 2000
  [スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[PC情報ビューアー]-[画面コピー]
- 工場出荷時は、Ctrl + Alt + F8 を押すと画面のコピーをファイル保存できるように設定されていますが、以下の項目で変更することもできます。
  1「PC 情報ビューアー」を選ぶ。
  Windows XP
  [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[PC情報ビューアー]を選ぶ。
  Windows 2000
  [スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[PC 情報ビューアー]を選ぶ。
  2 [画面コピー]を右ボタンで選んで､[プロパティ]の[ショートカット]を選ぶ。
  3「ショートカットキー」にカーソルを移動させ、ショートカットに使うキーを押す。
- 色数は、256色で保存されます。
- 拡張デスクトップモードでお使いの場合
  プライマリデバイス側に表示している画面を保存します。

再インストールのしかた (ハードディスク リカバリー)

お客様が作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップをとっておいてください。
再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
＜企業／法人向けモデルのみ＞
ハードディスクバックアップ領域を作成していた場合も、バックアップ領域は削除され、バックアップしたデータは消去されます。（ただし、再インストールメニュー（☞ 34 ページ 手順 *2* の 3）で「3.最初のパーティションにWindowsを再インストールする」を選んだ場合を除く。）

- **データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作／誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。**
- **4番目のパーティションは、再インストール専用のパーティションとして扱われますので、ハードディスクリカバリーを起動すると削除されます。**

● 再インストールとは

ハードディスクをフォーマットして、Windowsやドライバーなどをインストールしなおす作業のことです。

● 再インストールが必要な場合

- Windowsが起動しなくなり、修復できない場合
- ハードディスクを２つのパーティションに分割する場合

＜企業／法人向けモデルのみ＞

- ハードディスクバックアップ機能を無効にする場合

再インストールの前に

- 周辺機器およびSDメモリーカード／マルチメディアカードは、すべて取り外してください。特に、USBフロッピーディスクドライブやUSB接続のCDドライブは、接続したままでは再インストールが正常に行われない場合がありますので、必ず取り外してください。
- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- ハードディスクリカバリーはダイナミックディスクには対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。
- あらかじめ、ハードディスク以外の場所(他のメディアや外付けのハードディスクなど）に、パーティションテーブルの第4エントリーのパーティションのデータをバックアップしておいてください。(特殊な方法でパーティションを作成すると、Windows上で見える4番目のパーティションと一致しない場合があります。）
- バックアップをとるときは、ドライブ名を確認してください。パーティションの順番やドライブ名は、パーティションの構成や周辺機器の接続、パーティションを作成したときの条件により変動します。

  確認方法の一例

  Windows XP

  [スタート]を選び、[マイコンピュータ]を右ボタンで選んで、[管理]-[ディスクの管理]の順に選ぶ。

  Windows 2000

  [マイコンピュータ]を右ボタンで選び、[管理]-[ディスクの管理]の順に選ぶ。

セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。

↓

再インストールする。（10〜15分）

↓

Windowsのセットアップを行う。

↓

セットアップユーティリティの設定を変更する（必要な場合のみ）。

↓

<アプリケーション付きモデルのみ>

Microsoft® Office Personal Edition 2003など、付属のアプリケーションソフトをインストールし、ライセンス認証を行う。（☞ 37ページ）

再インストールする

お願い

● ハードディスクのパーティション(区画)を変更されるお客様へ
- ハードディスク内には、再インストールに必要なリカバリー用データを格納している領域があります。この領域は、保護のため、パーティション操作ツールなどを使った方法では表示も削除もできないようになっています。しかし、特殊な方法を使った場合は、この領域も削除されるおそれがあります。削除すると工場出荷時の状態に戻せなくなりますので、絶対に削除しないでください。（☞ 23ページ）
- パーティションは3つまでにしてください。（☞ 23ページ）

（画面はすべて一例です。）

1 セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。

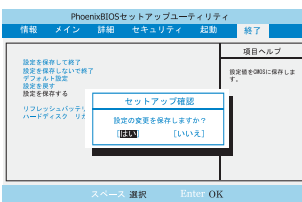
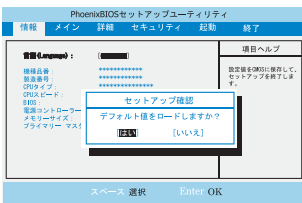
お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、変更した設定をメモしておくことをおすすめします。

1 コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に (F2) を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

2 (F9) を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、(Enter) を押してください。

3 (←) と (→) を使って「終了」メニューに移動し、(↑) と (↓) を使って5行目の「設定を保存する」を選んで (Enter) を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、(Enter) を押してください。

お知らせ

- 35ページの手順*3*が完了するまでは、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。
- セットアップユーティリティが終了してコンピューターが再起動してしまった場合、1行目の「設定を保存して終了」を選んでいます。コンピューターの電源を切り、手順*1*からやり直してください。

4 「ハードディスク リカバリー／消去」を選び、Enterを押す。
確認メッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押してください。

> 以下の場合は、ご相談窓口にご相談ください。
> ・「ハードディスク　リカバリー／消去」が表示されない
> ・再インストール（またはリカバリー）用ファイルに不整合がありますというメッセージが表示される
> ハードディスク内の再インストール用領域が削除されていたり、再インストールに必要なファイルが壊れていたりする場合があります。

●パーティションテーブルの第4エントリーにパーティションがあることを示す赤いメッセージが表示された場合
・すでに該当のパーティションのデータをバックアップ済みの場合
「はい」を選ぶ。
パーティションは消去されます。
・まだ該当のパーティションのデータをバックアップしていない場合
「いいえ」を選ぶ。
操作は中止され、セットアップユーティリティの画面に戻ります。
あらかじめ、ハードディスク以外の場所に、該当のパーティションのデータをバックアップしておいてください。（☞ 32ページ）

<企業／法人向けモデルのみ>

●ハードディスクバックアップ機能を有効にしている場合
ハードディスクバックアップ機能が無効になり、バックアップデータが消去されることをお知らせするメッセージが表示されますので、Yを押してください。

2 再インストールする。

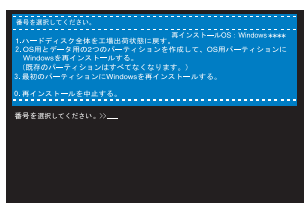
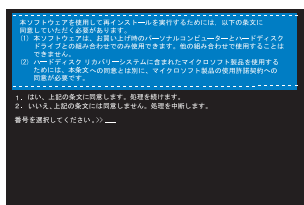
1 1を押して「1.【リカバリー】」を実行する。

2 再インストールを実行するための条件が表示されたら、
同意する場合は 1 を押し、
同意しない場合は 2 を押す。
1 を押すとメニューが表示されます。
2 を押すと再インストールが終了します。

3 再インストールの方法を選ぶ。

●お買い上げ時の状態に戻す場合
1 を押して、「1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す」を選ぶ。

●パーティションを2つ（OS用とデータ用）に分割する場合
①2 を押して、「2.OS用とデータ用の2つのパーティションを作成して、OS用パーティションにWindowsを再インストールする」を選ぶ。
②OS用パーティションのサイズを（Gバイト単位）を数字で入力し、Enter を押す。
・0（ゼロ）を入力すると、操作を中止することができます。
・設定できる最大のサイズから入力した数字を引いた値がデータ用パーティションのサイズになります。
機種により、設定できる最大のサイズは異なります。

●パーティション構成を変更せず、最初のパーティションにWindowsを再インストールする場合
3 を押して、「3.最初のパーティションにWindowsを再インストールする」を選ぶ。
・最初のパーティションのサイズは約6Gバイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

<企業／法人向けモデルのみ>

●バックアップ機能を無効にする場合

①「1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す」または「2.OS用とデータ用の2つのパーティションを作成して、OS用パーティションにWindowsを再インストールする」を選ぶ。
「1」：再インストール後、再度有効にできます。
「2」：再インストール後、パーティションが分割されているため、再度有効にできません。（☞ 39ページ）

② バックアップデータが消去されることをお知らせするメッセージが表示されたら、(Y) を押す。

4 確認のメッセージが表示されたら (Y) を押す。
再インストールが始まります。

お願い

● 途中で電源を切ったり、(Ctrl) + (Alt) + (Del) を押すなどして、再インストールを中止しないでください。Windowsが起動しなくなったり、データが消失して再インストールが実行できなくなったりするおそれがあります。

5 「再インストールを終了しました」というメッセージが表示されたら、(Ctrl) + (Alt) + (Del) を押してコンピューターを再起動する。

3 Windowsのセットアップを行う。（☞ 9〜13ページ）

4 セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。

（パスワードを除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。）

お願い

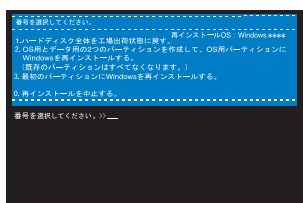
< CF-T2A シリーズ無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ>

Windows 2000

●再インストールし、Windowsのセットアップが終わった後、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]で、Intel(R) PROSet がインストールされていることを確認してください。
インストールされていない場合は、セットアップユーティリティで「詳細」メニューの「無線LAN」が「有効」に設定されていることを確認してから、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で「c:¥util¥drivers¥wlan¥proset¥proset.exe」を実行してインストールしてください。

（次ページへ）

困ったときは

再インストールのしかた(ハードディスク リカバリー)

<企業／法人向けモデルのみ>

● **ハードディスクバックアップ機能を有効にしている場合**

手順 *2* の *3*（☞ 34ページ）で「3」を選んで再インストールすると、2番目のパーティション（データ用パーティション）のドライブ文字とSDメモリーカードのドライブ文字が入れ代わることがあります。入れ代わった状態でもそのままお使いいただけますが、以下の手順で出荷時のドライブ文字に戻すことができます。

（再インストール前に2番目のパーティション（データ用パーティション）をE:、SDメモリーカードのドライブをD:にしていた場合）

1 **2番目のパーティション（データ用パーティション）のドライブ文字を無効にする。**

① **以下の項目で[コンピュータの管理]を選ぶ。**

Windows XP

[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[管理ツール]

Windows 2000

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[管理ツール]

② **[ディスクの管理]を選ぶ。**

③ **「D:」と表示されている領域を右ボタンで選び、[ドライブ文字とパスの変更]を選ぶ。**

④ **[削除]を選ぶ。**

⑤ **確認のメッセージで[はい]を選ぶ。**

2 **SDメモリーカードのドライブ文字を「D:」に変更する。**

SDドライブ変更ツールを使ってDドライブに変更してください。（☞『操作マニュアル』「SDメモリー／マルチメディアカード」）

3 **2番目のパーティション（データ用パーティション）のドライブ文字を「E:」に設定する。**

① **以下の項目で[コンピュータの管理]を選ぶ。**

Windows XP

[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[管理ツール]

Windows 2000

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[管理ツール]

② **[ディスクの管理]を選ぶ。**

③ **ドライブ文字が表示されていない領域を右ボタンで選び、[ドライブ文字とパスの変更]を選ぶ。**

④ **[追加]を選び、ドライブ文字を「E:」に割り当て、[OK]を選ぶ。**

アプリケーション付きモデルについて

再インストールした場合、付属のMicrosoft社製アプリケーションをそれぞれ再度インストールする必要があります。ソフトウェアパッケージに付属のCDを使ってインストールしてください。（別売りのCDドライブが必要です。）
＜CF-T2B シリーズをお使いの方へ＞

- アプリケーションをインストールする場合は、Microsoft® Office Personal Edition 2003 、Microsoft® Office Home Style+、Microsoft® Office OneNote™ 2003の順番で行ってください。
- [標準インストール]を選択してインストールすると、アプリケーションの操作中に機能の追加が必要になる場合があります。画面の指示に従って、インストールしてください。
  また、インストールされていない機能（手書き入力パッドなど）を確認するには、[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除] の[プログラムの変更と削除]で調べたいアプリケーションを選び、[変更]を選んでください。詳しくは、付属のソフトウェアパッケージ内の説明書をご覧ください。

● ライセンス認証について

以下のソフトウェアを再インストールした場合、ライセンス認証が必要になります。
＜CF-T2B シリーズをお使いの方へ＞
Microsoft® Office Personal Edition 2003 、Microsoft® Office OneNote™ 2003
＜CF-T2A シリーズをお使いの方へ＞
Microsoft® Office XP PersonalまたはMicrosoft® Office XP Professional

ライセンス認証を行わずに使い続けてある一定の使用回数を超えると、各ソフトウェアに使用制限が発生します。必ず、認証を受けてください。
＜ライセンス認証の操作の流れ＞
再インストールしたソフトウェアのいずれかを起動すると、認証ウィザードが起動します。画面の指示に従って、操作を行ってください。
認証方法として、インターネットによる認証と電話による認証の2とおりがあります。インターネットによる認証を受けるには、インターネットに接続できる環境が必要です。

ソフトウェア使用許諾書

第１条　権利
お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルやCD-ROMなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第２条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、本コンピューター１台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。

第５条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第６条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第７条　免責
本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第６条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

第８条　輸出管理
お客様が、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、日本国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

ハードディスクバックアップ機能

＜40 Gバイト以上のハードディスクを搭載した企業／法人向けモデルのみ＞
ハードディスクバックアップ機能とは、ハードディスク上にバックアップ領域（保護領域）を作成して、ハードディスクの内容のバックアップ（保存）や、バックアップした内容のリストア（復元）を行う機能です。他のメディアや周辺機器を使わずに、本機のみでハードディスクの内容をバックアップ／リストアすることができます。
定期的にバックアップを行っておけば、操作ミスでデータを消してしまった場合などに、ハードディスクの内容を最後にバックアップを行ったときの状態に戻すことができます。

お買い上げ時、ハードディスクバックアップ機能は無効になっています。バックアップ領域を作成するとハードディスクバックアップ機能は有効になり、データをバックアップできるようになります。ただし、一度バックアップ機能を有効にした後、無効にするには、再インストールが必要です。（☞43ページ）

ハードディスクバックアップ機能は、データのバックアップ時やリストア時にハードディスクに問題があると、正常にバックアップ／リストアが行われません。また、予期せぬ誤動作／誤操作など、データのリストア中にエラーが発生した場合、ハードディスク内のお客様のデータ（リストア前のデータ）は失われますのでご注意ください。

本バックアップ機能の使用により生じたお客様の損害（データの消失を含む）については補償いたしかねます。

ハードディスクバックアップ機能を使用する前に

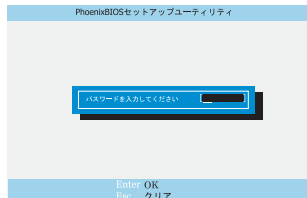
- **周辺機器およびSDメモリーカード／マルチメディアカードは、すべて取り外してください。特に、USBフロッピーディスクドライブやUSB接続のCDドライブは、接続したままではバックアップ領域が正常に作成できない場合がありますので、必ず取り外してください。**
- **必ず、ACアダプターを接続してください。**
- **パーティションを分割する場合は、バックアップ領域作成時に選択してください。（☞41ページ手順*5*）**
- **ハードディスクを複数のパーティションに分割していると、バックアップ領域を作成することができません。工場出荷時の状態（1つのパーティション）に戻してから、バックアップ領域を作成してください。**
- **バックアップ領域作成後にパーティション構成の変更（作成やサイズ変更など）を行うと、バックアップすることはできなくなります。変更する場合は、工場出荷時の状態に戻してから、再度バックアップ領域を作成する必要があります。**
- **ハードディスクバックアップ機能は、内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには、バックアップ／リストアすることはできません。**
- **ハードディスクが損傷していると、バックアップ／リストアすることができません。**
- **NTFSファイルシステムの圧縮機能を使用しないでください。バックアップ領域の容量が足りなくなる場合があります。**
- **ハードディスクが故障した場合には、データなどが読み出せなくなりますので、あらかじめ、ハードディスク以外の場所（他のメディアや外付けのハードディスクなど）にも、データをバックアップしておいてください。**
- **次の手順でディスクのエラーチェックを行ってください。**
  1 **Cドライブのプロパティを表示する。**
  Windows XP
  [スタート]-[マイコンピュータ]の[ローカルディスク（C:）]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選ぶ。
  Windows 2000
  [マイコンピュータ]の[ローカルディスク（C:）]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選ぶ。
  2 **[ツール]から[チェックする]を選ぶ。**
  3 **[チェックディスクのオプション]で、どの項目にもチェックマークを付けずに[開始]を選ぶ。**
  ディスクにエラーがあることを示すメッセージが表示された場合、再度[チェックディスクのオプション]を表示し、「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」と「不良セクタをスキャンし、回復する」にチェックマークを付け、[開始]を選んで、ディスクのエラーチェックを行ってください。
- **ハードディスクバックアップ機能はダイナミックディスクには対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。**

ハードディスクバックアップ機能

お知らせ

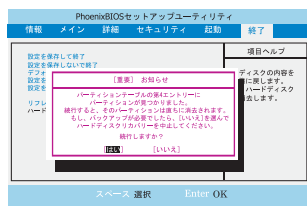
● バックアップ領域について
- ハードディスク全体の半分以上の空き容量が必要です。空き容量が足りないと、バックアップ領域を作成することができません。
- バックアップ領域が作成されると、使用できるハードディスクの容量は半分以下になります。
- バックアップ領域は、Windows上からはアクセスすることができません。このため、バックアップしたデータを、CD-Rなどのリムーバブルディスクにコピーすることはできません。
- ハードディスクバックアップ機能では、バックアップ領域のデータを上書きします。バックアップした後に作成／編集したデータを、さらにバックアップすると、前回バックアップ領域に保存したデータは失われます。

バックアップ領域を作成する

（画面はすべて一例です。）

1 コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に、(F2)を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードが設定されている場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力してください。ユーザーパスワードでは「起動」メニューを変更できません。

2 (←) と (→) を使って「終了」メニューに移動し、(↑) と (↓) を使って7行目の「ハードディスク　リカバリー／消去」を選んで (Enter) を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、(Enter) を押してください。

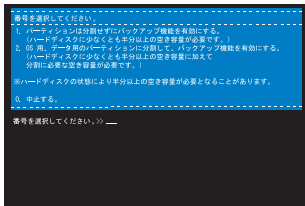
以下の場合は、ご相談窓口にご相談ください。
- 「ハードディスク　リカバリー／消去」が表示されない
- 再インストール用ファイルに不整合がありますというメッセージが表示される

ハードディスク内のリカバリー領域が削除されていたり、バックアップの作成／復元に必要なファイルが壊れていたりする場合があります。

パーティションテーブルの第4エントリーにパーティションがあることを示す赤いメッセージが表示された場合
- すでに該当のパーティションのデータをバックアップ済みの場合
  「はい」を選ぶ。
  パーティションは消去されます。
- まだ該当のパーティションのデータをバックアップしていない場合
  「いいえ」を選ぶ。
  操作は中止され、セットアップユーティリティの画面に戻ります。
  あらかじめ、ハードディスク以外の場所に、該当のパーティションのデータをバックアップしておいてください。（☞ 32ページ）

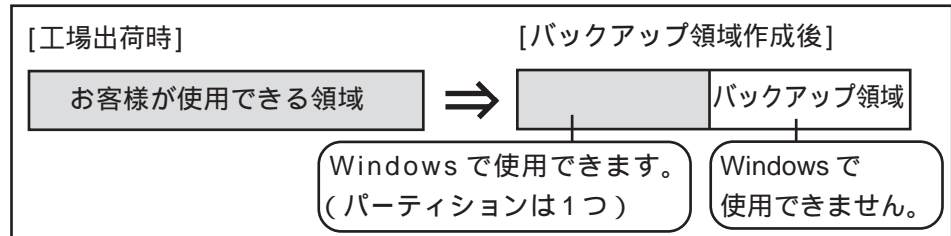
3 (3) を押して「3.【バックアップ】」を実行する。

お願い

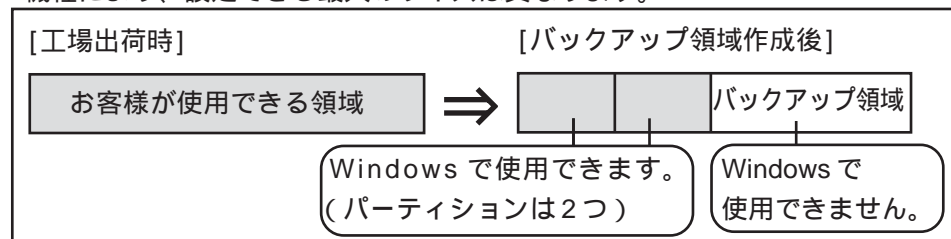
＜パーティションを分割する場合＞
● 「1.【リカバリー】」を実行してパーティションを分割しないでください。パーティションを分割した後では、ハードディスクバックアップ機能を有効にすることができません。パーティションの分割は、手順 *5* で行います。

4 確認画面で (Y) を押す。

5 メニューから、ハードディスクの分割方法を選ぶ。

＜バックアップ領域を作成し、パーティションは分割しない場合＞

「1」を選んでください。

＜バックアップ領域を作成し、さらにOS用とデータ用の2つのパーティションに分割する場合＞

「2」を選び、OS 用パーティションのサイズ(G バイト単位)を数字で入力して、(Enter) を押してください。

- 0（ゼロ）を入力すると、操作を中止することができます。
- 設定できる最大のサイズから入力した数字を引いた値がデータ用パーティションのサイズになります。
  機種により、設定できる最大のサイズは異なります。

6 確認のメッセージが表示されたら (Y) を押す。
バックアップ領域が作成されます。

7「バックアップ機能を有効にするためには再起動が必要です。」というメッセージが表示されたら、何かキーを押して、コンピューターを再起動する。
コンピューターが再起動して、「パスワードを入力してください」と表示されたら、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。
引き続きバックアップが始まります。

8「バックアップが終了しました。」というメッセージが表示されたら、(Ctrl) + (Alt) + (Del) を押してコンピューターを再起動する。

お願い

- メッセージが表示される前に、(Ctrl) + (Alt) + (Del) を押さないでください。

9 新しいデバイスがインストールされ、その設定を有効にするためにコンピューターを再起動する必要があることをお知らせするメッセージが表示されますので、[はい]を選んで再起動してください。

お知らせ

- 次回、バックアップおよびリストアを実行するときは、「バックアップ／リストアする」（☞ 42ページ）の手順に従ってください。

ハードディスクバックアップ機能

バックアップ／リストアする

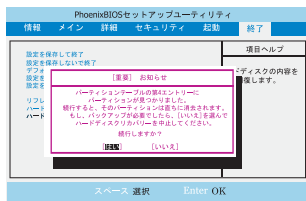
（画面はすべて一例です。）

お願い

- バックアップを実行する前に、ディスクのエラーチェックを行ってください。（☞ 39ページ）
- 途中で電源を切ったり、Ctrl + Alt + Del を押すなどして、バックアップ／リストアを中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、データが消失してバックアップ／リストアが実行できなくなったりするおそれがあります。

1 コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に、F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードが設定されている場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

2 ① ← と → を使って「終了」メニューに移動し、↑ と ↓ を使って一番下の「ハードディスクバックアップ／リストア」を選んで Enter を押す。
② 確認のメッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。
パーティションテーブルの第4エントリーにパーティションがあることを示す赤いメッセージが表示された場合

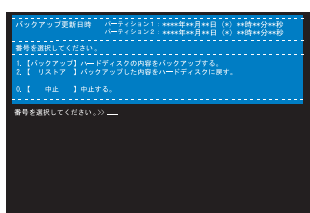
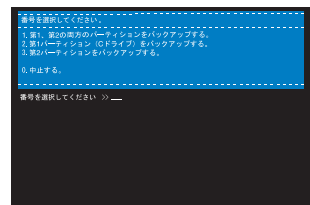
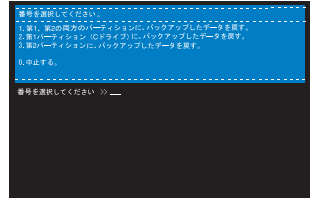
- すでに該当のパーティションのデータをバックアップ済みの場合
「はい」を選ぶ。
パーティションは消去されます。
- まだ該当のパーティションのデータをバックアップしていない場合
「いいえ」を選ぶ。
操作は中止され、セットアップユーティリティの画面に戻ります。
あらかじめ、ハードディスク以外の場所に、該当のパーティションのデータをバックアップしておいてください。（☞ 32ページ）

3 メニューから、実行する操作を選ぶ。

<ハードディスクの内容をバックアップ領域にバックアップする場合>
① 1 を押して「1.【バックアップ】」を実行する。
（ハードディスクを2つのパーティションに分割している場合、続けて、画面(*1)が表示されます。バックアップの方法を選んでください。）
② 確認画面で Y を押す。
バックアップが始まります。

*1

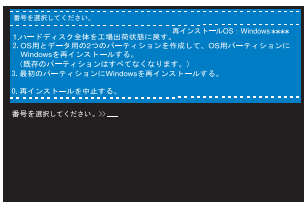
<バックアップ領域に保存した内容をハードディスクに戻す場合>
① 2 を押して「2.【リストア】」を実行する。
（2つのパーティションでバックアップしている場合、続けて、画面(*2)が表示されます。リストアの方法を選んでください。）
② 確認画面で Y を押す。
リストアが始まります。

*2

※ バックアップ（またはリストア）にかかる時間は、データ量によって異なります。

4 「バックアップが終了しました。」または「リストアを終了しました。」というメッセージが表示されたら、Ctrl + Alt + Del を押してコンピューターを再起動する。

- バックアップ／リストアの途中で電源が切れた場合などは、再度実行してください。
- 新しいデバイスがインストールされ、その設定を有効にするためにコンピューターを再起動する必要があることをお知らせするメッセージが表示された場合は、[はい]を選んで再起動してください。

お願い

- ハードディスクバックアップ機能を有効にしている状態では、お客様がアクセスできる領域内のすべてのデータを市販のデータ消去ユーティリティなどを使って消去しても、バックアップされたデータは消去されません。本機に搭載されているハードディスクデータ消去ユーティリティ（☞ 44 ページ）を使うと、バックアップされたデータを含むハードディスク内のデータを消去することができます。本機を破棄または譲渡する場合は、ハードディスクデータ消去ユーティリティをご使用ください。
- バックアップの途中、まれに「#1805 イメージファイルが書けません」というエラーメッセージが表示され、バックアップが中断されることがあります。このエラーが発生した場合には、再度バックアップを実行してください。再度バックアップを実行し、バックアップが正しく終了すれば、ハードディスクに問題はありません。

ハードディスクバックアップ機能を無効にするには

再インストールを行う必要があります。バックアップ領域およびハードディスク内のデータは消去されます。

「再インストールする」（☞ 33ページ）の手順*2*の*2*までを行い、再インストールを実行するための画面が表示された後、左の画面が表示されますので、「1」または「2」を選んで再インストールしてください。

- 「1」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることができます。
- 「2」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることはできますが、パーティションが分割されるため、再度ハードディスクバックアップ機能を有効にすることができません。（☞ 23 ページ）
- 「3」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることができません。

ハードディスクの内容をすべて消去する

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、内蔵ハードディスク（リカバリー用データ領域を除く）に保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去します。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

> ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客様の損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行すると、ハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。
- リカバリー用データは消去されません。

＜企業／法人向けモデルのみ＞

- バックアップ領域およびバックアップデータが消去されます。

データをすべて消去する

（画面はすべて一例です。）

1 コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に、F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードが設定されている場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力してください。ユーザーパスワードでは「起動」メニューを変更できません。

2 ← と → を使って「終了」メニューに移動し、↑ と ↓ を使って7行目の「ハードディスク　リカバリー／消去」を選んで Enter を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、 Enter を押してください。

> 以下の場合は、ご相談窓口にご相談ください。
> ・「ハードディスク　リカバリー／消去」が表示されない
> ・再インストール（またはリカバリー）用ファイルに不整合がありますというメッセージが表示される
> ハードディスク内の再インストール用領域が削除されていたり、再インストールに必要なファイルが壊れていたりする場合があります。

- パーティションテーブルの第4エントリーにパーティションがあることを示す赤いメッセージが表示された場合
  - ・すでに該当のパーティションのデータをバックアップ済みの場合
    「はい」を選ぶ。
    パーティションは消去されます。
  - ・まだ該当のパーティションのデータをバックアップしていない場合
    「いいえ」を選ぶ。
    操作は中止され、セットアップユーティリティの画面に戻ります。
    あらかじめ、ハードディスク以外の場所に、該当のパーティションのデータをバックアップしておいてください。（☞ 32ページ）

＜企業／法人向けモデルのみ＞

● ハードディスクバックアップ機能を有効にしている場合
ハードディスクバックアップ機能が無効になり、バックアップデータが消去されることをお知らせするメッセージが表示されますので、Y を押してください。

3 2 を押して「2.【HDD消去】」を実行する。
確認のメッセージが表示されます。
（0（ゼロ）を押すと、操作を中止することができます。）
＜企業／法人向けモデルのみ＞
ハードディスクバックアップ機能が有効になっている場合、ハードディスクバックアップ機能が無効になり、バックアップデータが消去されることをお知らせするメッセージが表示されますので、Y を押してください。

4 Y を押す。
ハードディスクデータ消去ユーティリティが起動します。

5「<<<スタートメニュー>>>」で Enter を押す。

6 消去にかかるおおよその時間など、メッセージの内容を確認してから Space を押す。

7 メッセージの内容を確認してから Enter を押す。
ハードディスクのデータ消去が開始されます。
（万一、途中でデータ消去を中断する場合は、Ctrl + C を押して中断することができますが、すでに消去されたデータは復元されません。）
完了のメッセージが表示されたら、本機の電源を切ってください。
何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

仕様 日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

● 本体仕様

項目	細目				
機種名	CF-T2Bシリーズ	CF-T2BC2AXP CF-T2BC2AXS	CF-T2BC1AXS CF-T2BC1A2S	CF-T2BW1AXR CF-T2BW1AXP CF-T2BW1HXP	CF-T2BW1AXS CF-T2BW1A2S
	CF-T2Aシリーズ	CF-T2AC2AXR CF-T2AC2AXP CF-T2AC2AXS	CF-T2AC1AXS CF-T2AC1A2S	CF-T2AW1AXR CF-T2AW1AXP CF-T2AW1HXP	CF-T2AW1QXP CF-T2AW1AXS CF-T2AW1A2S
CPU	CF-T2Bシリーズ	超低電圧版 インテル® Pentium® Mプロセッサ 1 GHz			
	CF-T2Aシリーズ	超低電圧版 インテル® Pentium® Mプロセッサ 900 MHz			
	キャッシュ	オンダイL2キャッシュ-1 Mバイト			
搭載メモリー（拡張可能メモリー）		128 Mバイト （最大384 Mバイト）	256 Mバイト （最大512 Mバイト）		
ビデオメモリー（メインメモリーと共用）		最大32 Mバイト*1 （最大64 Mバイト*1*2）	最大64 Mバイト*1		
LCD	タイプ	12.1型TFTカラー液晶			
	解像度（表示色数）	1024 x 768ドット（256色/65536色/1677万色）*3			
外部ディスプレイ		1600 x 1200/1280 x 1024/1024 x 768/800 x 600/640 x 480ドット （いずれの解像度でも256色/65536色/1677万色）*4			
ハードディスクドライブ		約20 Gバイト*5	約40 Gバイト*5		
		上記容量のうち約3 Gバイトはリカバリー用データ領域として使用（ユーザー使用不可）			
キーボード		OADG 準拠、Windowsキーボード（87キー）			
スロット	PCカードスロット	Type I(Type II) x 1スロット 許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA			
	増設RAMスロット	1スロット（172ピン、マイクロDIMM、2.5 V、DDR SDRAM、PC2100*6）			
	SDメモリーカードスロット	SDメモリーカード／マルチメディアカード			
インターフェース	外部ディスプレイコネクター	アナログRGB ミニD-sub15ピン			
	マイク入力端子	モノラルミニジャックM3（コンデンサーマイクを使用のこと）			
	オーディオ出力端子	ステレオミニジャックM3			
	USBコネクター	Universal Serial Bus 2.0 準拠 4 ピン x 2			
	モデムコネクター	RJ-11 DATA：56 kbps（V.90）FAX：14.4 kbps			
	LANコネクター	RJ-45 100BASE-TX/10BASE-T			
	無線LAN モジュール	──		内蔵（☞48ページ）	
ポインティングデバイス		ホイールパッド			
サウンド機能		PCM音源（16ビットステレオ）、モノラルスピーカー			
消費電力*7		最大 約40 W、（社）電子情報技術産業協会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値：24 W			
外形寸法（幅×高さ×奥行き）		268 mm x 26.1 mm(前部)/39.1 mm(後部) x 210 mm （突起部を除く）			
質量		約999 g	約1045 g	約1070 g	
使用環境条件		温度：5 °C〜35 °C 湿度：30 %RH〜80 %RH（結露なきこと）			

*1 コンピューターの動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。
*2 メモリー増設時。
*3 ディザリング機能を使用して約1677万色表示を実現しています。 Windows XP ：640 x 480ドットおよび256色には対応していません。
*4 外部ディスプレイの仕様により異なります。 Windows XP ：640 x 480ドットおよび256色には対応していません。
*5 1 Gバイト=10^9 バイトで端数を省略しています。
*6 RAMモジュールを増設する際、PC2100対応であることをご確認ください。
*7 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約1.5 W。

● 付属品仕様

ACアダプター	入力	AC 100 V 〜 240 V*1、50 Hz/60 Hz
	出力	DC 16 V、2.5 A
	電源コード	125 V 対応
バッテリーパック	仕様	7.4 V(Li-ion)、4.4 Ah
	駆動時間	約 5 時間*2 （Windows 2000モデルは約20分短くなります。）

*1 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。(☞ 3ページ)
*2 JEITAバッテリー動作時間測定法（Ver.1.0）による駆動時間。バッテリー駆動時間は動作環境／システム設定により変動します。

● 導入済みソフトウェア

＜CF-T2Bシリーズ＞

機種名	CF-T2BW1A2S CF-T2BC1A2S	CF-T2BW1AXR　CF-T2BW1HXP　CF-T2BC2AXS CF-T2BW1AXP　CF-T2BW1AXS CF-T2BC2AXP　CF-T2BC1AXS
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional with Service Pack4（NTFSファイルシステム） Microsoft® Windows® Media Player 7.0 Microsoft® Internet Explorer 6.0 with Service Pack1 DirectX 9.0b	Microsoft® Windows® XP Professional with Service Pack1a (NTFSファイルシステム) Microsoft® Windows® Media Player 9.0 DirectX 9.0b Microsoft® Windows® MovieMaker 2.0
ソフトウェア名	セットアップユーティリティ DMIビューアー ネットセレクター SDユーティリティ ホイールパッドユーティリティ Adobe® Acrobat® Reader PC情報ビューアー インテル® SpeedStep™ テクノロジアプレット ハードディスクデータ消去ユーティリティ*3 ハードディスクバックアップユーティリティ*3 インテル® PROSet*4 Wireless Manager 3.0*6 Image Creator 1.0A*6	セットアップユーティリティ DMIビューアー ネットセレクター SDユーティリティ ホイールパッドユーティリティ Adobe® Acrobat® Reader PC情報ビューアー ハードディスクデータ消去ユーティリティ*3 ハードディスクバックアップユーティリティ*3*5 Wireless Manager 3.0*5*6 Image Creator 1.0A*5*6 マカフィー®・ウイルススキャン*7 各種プロバイダーオンラインサインアップ*7 ＜アプリケーション付きモデルのみ＞ Microsoft® Office Personal Edition 2003*8*9 Microsoft® Office Home Style+*8 Microsoft® Office OneNote™ 2003*8 Microsoft® IME 2003*8

*3 セットアップユーティリティから実行するユーティリティ
*4 無線LANモジュール内蔵モデルのみ
*5 企業／法人向けモデルのみ
*6 ワイヤレス投写用アプリケーションソフト（パナソニック液晶プロジェクターTH-L735NTとワイヤレス接続するときに使います。）
*7 個人向けモデルのみ
*8 CF-T2BW1HXPのみ
*9 画面上の[アイコン]を実行しても、Microsoft® Bookshelf® Basicはセットアップされません。必要な場合は、付属のCDを使ってインストールしてください。（この場合、別売りのCDドライブが必要となります。）

仕様 日本国内専用

＜CF-T2A シリーズ＞

機種名	CF-T2AW1A2S CF-T2AC1A2S	CF-T2AW1AXR　CF-T2AW1HXP　CF-T2AC2AXS CF-T2AC2AXR　CF-T2AW1QXP CF-T2AW1AXP　CF-T2AW1AXS CF-T2AC2AXP　CF-T2AC1AXS
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional with Service Pack3（NTFSファイルシステム） Microsoft® Windows® Media Player 7.0 Microsoft® Internet Explorer 6.0 with Service Pack1 DirectX 8.1b	Microsoft® Windows® XP Professional with Service Pack1（NTFSファイルシステム） Microsoft® Windows® Media Player 9.0 DirectX 9.0 Microsoft® Windows® MovieMaker 2.0
ソフトウェア名	セットアップユーティリティ DMIビューアー ネットセレクター SDユーティリティ ホイールパッドユーティリティ Adobe® Acrobat® Reader PC情報ビューアー インテル® SpeedStep™ テクノロジアプレット ハードディスクデータ消去ユーティリティ*1 ハードディスクバックアップユーティリティ*1 インテル® PROSet*2	セットアップユーティリティ DMIビューアー ネットセレクター SDユーティリティ ホイールパッドユーティリティ Adobe® Acrobat® Reader PC情報ビューアー ハードディスクデータ消去ユーティリティ*1 ハードディスクバックアップユーティリティ*1*3 各種プロバイダーオンラインサインアップ*4 ＜アプリケーション付きモデルのみ＞ Microsoft® Outlook® Plus! Version 2.0*5 Microsoft® Office XP PersonalとMicrosoft® Encarta® 百科事典 2003 Basic*5*7 Microsoft® Office XP ProfessionalとMicrosoft® Encarta® 百科事典 2003 Basic*6*7

*1 セットアップユーティリティから実行するユーティリティ
*2 無線LANモジュール内蔵モデルのみ
*3 企業／法人向けモデルのみ
*4 個人向けモデルのみ
*5 CF-T2AW1HXPのみ
*6 CF-T2AW1QXPのみ
*7 画面上のを実行しても、Microsoft® Bookshelf® Basicはセットアップされません。必要な場合は、付属のCDを使ってインストールしてください。（この場合、別売りのCDドライブが必要となります。）

● 無線 LAN モジュール ＜無線 LAN モジュール内蔵モデル＞

データ転送速度	11 Mbps/5.5 Mbps/2 Mbps/1 Mbps（自動切替）*8
準拠規格	ARIB STD-T66（小電力データ通信システム規格） IEEE802.11b（無線LAN標準プロトコル）
伝送方式	DS-SS方式
伝送距離	見通し約50 m（アクセスポイントとの通信時）*9
使用無線チャンネル	1〜11チャンネル
RF 周波数帯域	2.4 GHz帯全域（2.4 GHz〜2.4835 GHz）

*8 IEEE802.11b規格による速度であり、実効速度とは異なります。
*9 通信距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフトウェア、OSなどの使用条件によって異なります。

保証とアフターサービス

付属の『ご使用の前に』をご覧ください。

重要なお知らせ

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器／装置／システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器／装置／システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障／修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化／消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、「上手にお使いいただくために」（☞ 20ページ）の内容に注意してください。

- 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 落丁、乱丁はお取り替えします。
- 本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
- 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
- 漏洩電流について、この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

<無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ>

日本国内で無線 LAN モジュールをお使いになる場合のお願い

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（たとえばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

2.4DS4　この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2400 から 2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式の無線装置で、干渉距離が約 40 m であることを意味します。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

愛情点検　長年ご使用のコンピューターの点検を！

こんな症状はありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った	▶	このような症状の時は故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグとバッテリーパックを抜いて、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　　月　　日	品 番*	
販売店名	☎(　　　)　　ー	お近くの当社 ご相談センター ☎(　　　)　　ー	

* 保証書に記載されている品番(例:CF-T2BW1AXR)を記入してください。

松下電器産業株式会社 IT プロダクツ事業部
〒 570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

SS0403-4093
DFQM5527YA